

第22回 IGBA年次総会

第22回のIGBA (International Generic and Biosimilar Medicines Association: 国際ジェネリック医薬品・バイオシミラー協会) 年次総会が、6月12日～14日にポーランド・ワルシャワにおいて盛大に開催されました。

今回も、昨年と同様に、欧州ジェネリック医薬品協会の第25回総会との合同総会として開催され、参加者は合計190名(欧州:154名、米国:15名、日本:9名、その他:12名)でした。日本からの参加者の内訳はGE薬協会員企業8名、事務局1名でした。

総会では<グローバルヘルス:アクセスと持続可能性のバランス>をテーマとし、「医薬品市場の現状と将来」、「国際貿易協定の影響」「国際的な規制調和による効率性」、「付加価値医薬品」、「バイオシミラー医薬品」、「新たな医療政策」、「医薬品アクセス改善とその持続性の確保への取組み課題」などのセッションにおいて発表、パネルディスカッションが行われました。ジェネリック企業のみならず当局、患者団体など各ステークホルダーも加わった活発な議論が展開されました。また、WHOの事務総長補であるマリアンジェラ・シマオ氏による基調講演も行われました。次回は、2020年6月17日(水)～19日(金)ギリシャ・アテネで開催される予定です。

